地下水ラボ　前期を終えて

西条市

・出てきた多様なアイデアをどう具体化するか、誰が主体となるか？
・行政や各団体でできることは実施を進める。
・目的である「市民一人ひとりの水を大事にする意識・行動の広がり」を目指し、
参加者自身の実践（あらゆる形での情報発信）につなげたい。
⇒「自分がやってみよう」と思うようなきっかけづくり、背中を押すことが必要ではないか。

次回以降は切り口を変え、情報発信を身近に感じ、
「実践してみよう！」と思うような講座へ。

水に関する学びの共有から、水に関する情報発信の実践へ